

## DISCUSSION



### 大阪自動車青年会議所、パネルディスカッションを開催

大阪府車協・青年部会、植林部会長らが意見を交わす

大阪府自動車青年会議所（柏原隆宏会長）は、7月2日に例会を開催した。各報告に続き、パネルディスカッションを実施。「私たちと自動車業界の未来を考えませんか～ Go for it～」と題し、自動車産業を支える整備業と車体整備業それぞれの観点から、業界の現状や動向、今後の課題などについて意見を交わした。

参加者は、同会議所から柏原会長と唐原健太郎氏、大阪府自動車車体整備協同組合・青年部会から植林晃平部会長、樋谷秀明前部会長が出席。日刊自動車新聞社の山西晋氏がコーディネーターを務めた。ディスカッションでは、自整業から見た車体整備業や車体整備業から見た自整業、人材育成、事業承継などをテーマに意見交換。会は違えど、自動車を取り扱う業界であること、業界への思い、若手経営者としての悩みなどは共通しており、同じ方向を向いて進んでいけるだろうということを確認した。

## SEMINAR

### 「乾燥革命」デモンストレーションに200人以上が集まる

スピーディ、鈴木鉄金塗装で工場見学とデモンストレーションを開催

「乾燥革命」をテーマに、赤外線乾燥システムやプレバレーションシステムを提唱しているスピーディは7月5日、同システムを導入している鈴木鉄金塗装（鈴木龍吾社長、愛知県瀬戸市）において工場見学会及びデモンストレーションを開催した。

鈴木社長は、「かつては塗装ブースの1サイクルに150分掛かっていたが、塗装作業場を改造し、新たな塗装システムを導入したことでの1サイクル60分まで時間短縮できた。隠すことは何もないし、せっかくの機会なのでいろいろ伝えていきたい」と挨拶。各種設備の説明の後、同工場の塗装スタッフがパネルを使い、実際の塗装作業時と同じ条件で実演塗装。ベースコートからクリヤー塗装までわずか30分で終了するなど、プレバレーションシステムによる大幅な乾燥時間短縮を目の当たりにした参加者からは驚きの声が続出していた。

当日は愛知県近郊の業界関係者だけでなく、大阪府の生興塗料が40人以上のバスツアーで参加するなど遠方からの参加者も見られ、約230人が集まり大いにぎわった。



塗装ブースは全塗装でもセッティングを含めて30分で乾燥する能力を持つ。内部を6区画に区切り、使用するゾーンを選択したり、風量もコントロールできるので効率良く乾燥できる



フレップブースでは研磨から上塗り、磨きまでの工程を移動せずに1カ所で作業できる。また、乾燥機は400Vの赤外線短波と自動運転によって、短時間で広い面積を効率良く乾燥させることができる

## Editor's note

この数年、系列ディーラーにおける鉄金塗装の入庫量減少に伴い、カーメーカーが保険修理のみならず一般修理まで視野に入れ、ディーラーのサービス売り上げの拡大に向けた提案、支援活動に一層力を入れているようです。今後、国内の新車販売を含めさらに厳しい状況へと転じる恐れも充分にあり、各社の動きが加速するのは間違いないところです。

そうした中、カーメーカー座談会で今後の課題として懸念されていたのが、外注先となる信頼できる提携工場をしっかりと確保できるのかという点でした。一昔前は、ディーラー内製化工場との技術・品質レベルの差を主張するボデーショップも多かったのですが、このところそんな声を耳にすることは非常に少なくなりました。これは、技術力や完成品質云々よりも、修理に関連する情報、データ、さらには機器・工具・材料などがどんどん増え続け、その流れに追隨するので精一杯、もしくは付いていけなくなってきたボデーショップが増えているからに他なりません。

高度・複雑化する修理技術、カオナーの安心・安全という大義名分のもと、新たな被選別の時代が到来することになりそうです。  
(市)

## おたよりお待ちしています!

採用された方には粗品を進呈いたします。  
ハガキ／封書  
〒541-0048 大阪市中央区瓦町1-2-13  
(株)プロトリオ  
編集課リーダーズフォーラム係  
※中綴じの投稿用紙もご利用ください。  
Eメール:bsr@proto-rios.co.jp